

2018年12月期 決算説明会

2019年2月27日

サカタインクス株式会社

1. 2018年12月期 実績

2. 2019年12月期 通期予想と今後の計画

3. 今後の事業拡大と価値の創造

本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2019年2月27日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。

1. 2018年12月期 実績



(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

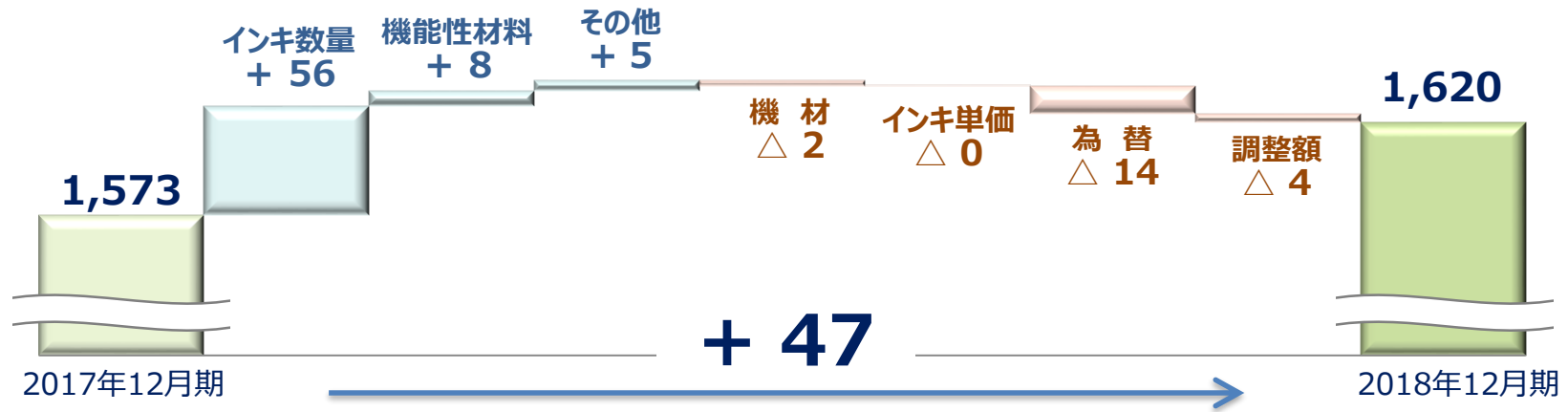
	2017年12月期		2018年12月期					
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	増減額	増減率	為替換算影響額	為替影響排除後増減率
売上高	157,302		162,056		4,753	3.0	△1,438	3.9
営業利益	8,573	5.5	5,112	3.2	△3,460	△40.4	△103	△39.2
経常利益	11,249	7.2	6,910	4.3	△4,339	△38.6	△115	△37.5
親会社株主に帰属する当期純利益	8,383	5.3	4,692	2.9	△3,690	△44.0	△98	△42.9

期中レート(USドル) 112.19円

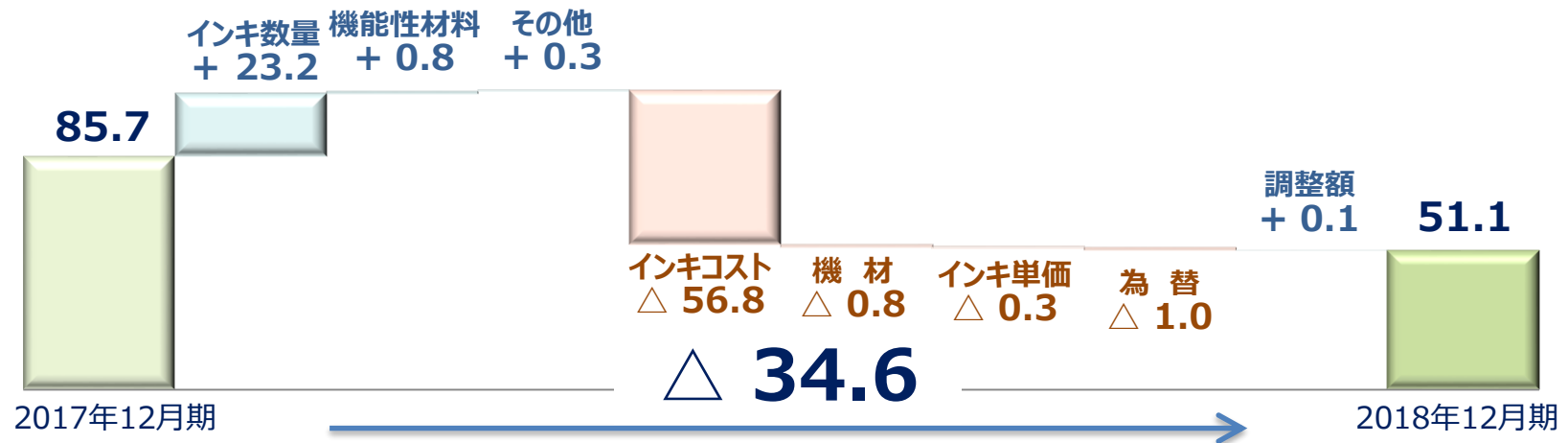
110.43円

2018年12月期 売上高・営業利益 要因別増減

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

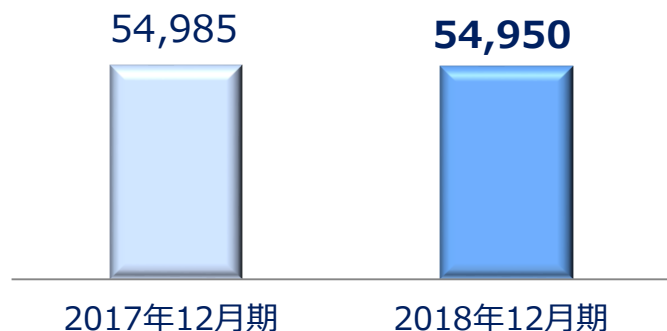


2018年12月期 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2017年12月期 金額	2018年12月期		
			金額	増減額	為替換算影響額
売上高	印刷インキ・機材（日本）	54,985	54,950	△34	—
	印刷インキ（アジア）	30,245	32,156	1,911	△951
	印刷インキ（北米）	43,560	44,957	1,397	△709
	印刷インキ（欧州）	8,777	9,321	543	171
	機能性材料	11,336	12,185	849	41
	報告セグメント計	148,904	153,571	4,666	△1,447
	その他	15,790	16,335	545	—
	調整額	△7,392	△7,851	△458	9
	合計	157,302	162,056	4,753	△1,438
営業利益	印刷インキ・機材（日本）	2,253	1,125	△1,127	—
	印刷インキ（アジア）	2,347	1,529	△817	△57
	印刷インキ（北米）	1,830	992	△837	△26
	印刷インキ（欧州）	25	△791	△817	△16
	機能性材料	1,140	1,222	82	—
	報告セグメント計	7,596	4,078	△3,517	△101
	その他	350	390	39	—
	調整額	626	643	17	△2
	合計	8,573	5,112	△3,460	△103

売上高（百万円）



+

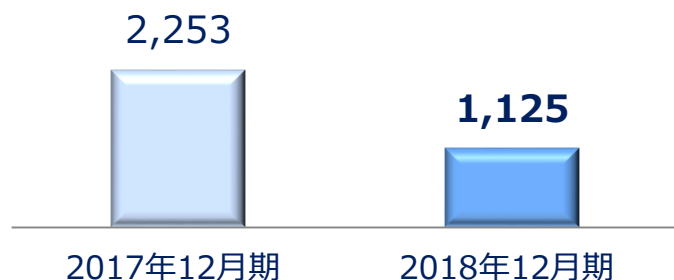
➤ 食品・飲料用途の安定した需要
(グラビア)

-

➤ 天候不順による影響 (フレキソ)
➤ 需要が低調に推移
(新聞・オフセット)
(印刷製版用材料、印刷製版関連機器)

前 期 比	増減額 (百万円)	増減率 (%)
	△34	△0.1

営業利益（百万円）



+

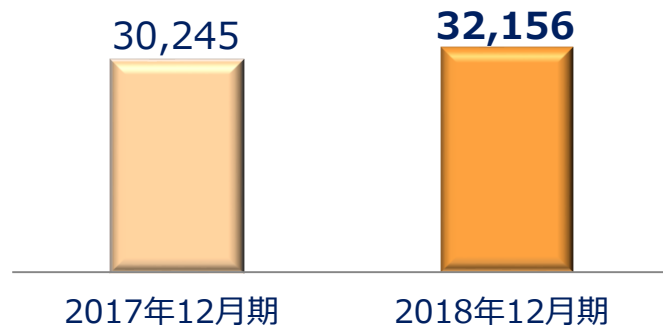
➤ パッケージ用インキの拡販
➤ インキの価格改定

-

➤ 原材料価格の上昇
➤ 需要低迷
(新聞・オフセット)
(印刷製版用材料、印刷製版関連機器)

前 期 比	増減額 (百万円)	増減率 (%)
	△1,127	△50.1

売上高 (百万円)



+

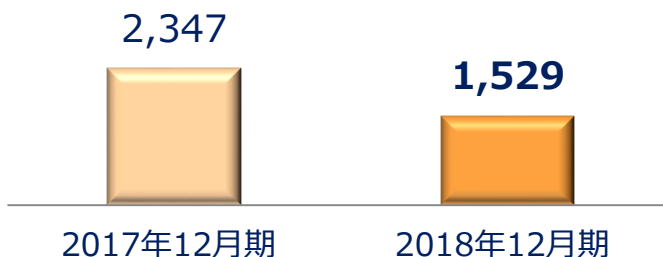
- ▶ グラビア販売数量の増加
(インド・インドネシア・ベトナム)
- ▶ 新聞・オフセット販売数量の増加
(インド・中国)

-

- ▶ 円高による為替換算の影響

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	1,911	6.3
為替影響排除後	2,862	9.5

営業利益 (百万円)



+

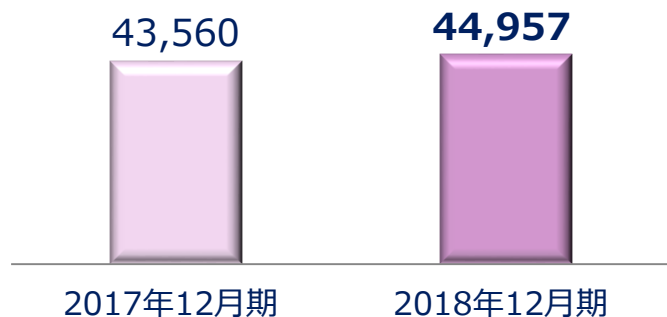
- ▶ グラビア販売数量の増加
(インド・インドネシア・ベトナム)
- ▶ 新聞・オフセット販売数量の増加 (インド・中国)
- ▶ インキの価格改定

-

- ▶ 現地通貨安の影響
- ▶ 原材料価格の上昇
- ▶ 競争激化

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ 817	△34.8
為替影響排除後	△ 760	△32.4

売上高（百万円）



+

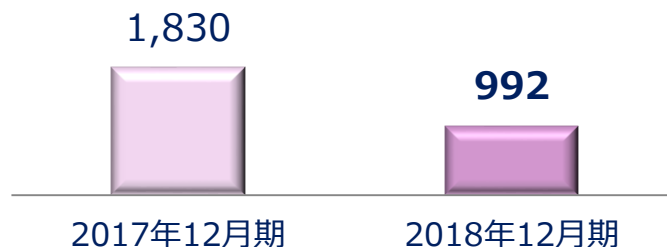
- 販売数量の増加
(フレキソ・グラビア・缶用・UV)

-

- 印刷市場縮小による需要減
(オフセット)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	1,397	3.2
為替影響排除後	2,106	4.8

営業利益（百万円）



+

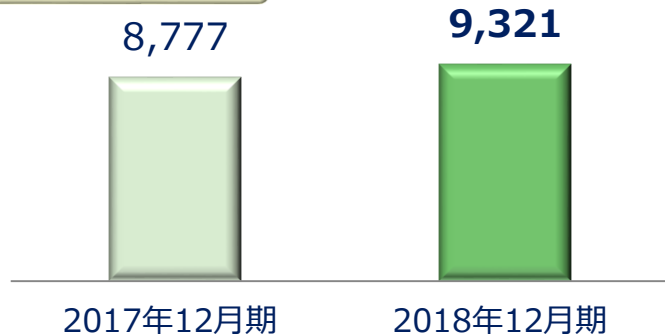
- 販売数量の増加
(フレキソ・グラビア・缶用・UV)
- 高付加価値製品の拡販

-

- 原材料価格の上昇
- 米中貿易摩擦による影響
- 拡販に伴うコスト増加

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ 837	△45.8
為替影響排除後	△ 810	△44.3

売上高（百万円）

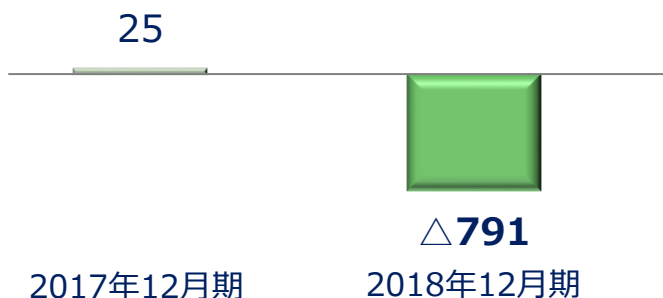


+

- 販売数量の増加
（グラビア・フレキソ・缶用）
- 現地通貨高・円安による為替換算の影響

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	543	6.2
為替影響排除後	372	4.2

営業利益（百万円）



+

- 販売数量の増加
（グラビア・フレキソ・缶用）

-

- 原材料価格の上昇
- 生産体制の再編に伴うコストの増加
- 競争激化

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	Δ 817	-
為替影響排除後	Δ 801	-

売上高 (百万円)

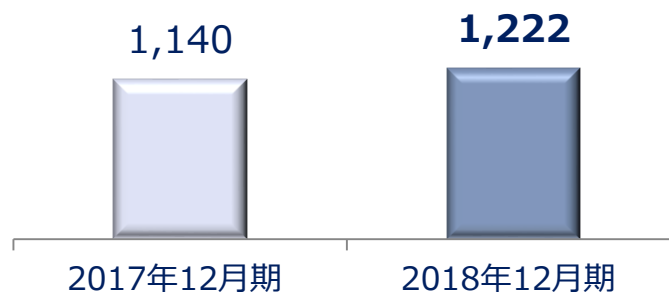


+

- 販売数量の増加
(インクジェットインキ、
カラーフィルター用顔料分散液、
トナー)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	849	7.5
為替影響排除後	808	7.1

営業利益 (百万円)



+

- 販売数量の増加
(インクジェットインキ、
カラーフィルター用顔料分散液、
トナー)

-

- 原材料価格の上昇

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	82	7.2
為替影響排除後	83	7.3

2018年12月期 連結貸借対照表の主な増減

(単位：億円)

科目	2017年 12月31日現在	2018年 12月31日現在	増減
現金・預金	100	71	△28
売上債権	450	465	14
流動資産	761	762	0
固定資産	692	696	3
資産合計	1,454	1,458	3
仕入債務	293	318	24
短期借入金	95	104	8
流動負債	479	492	12
長期借入金	61	73	11
固定負債	187	192	4
負債合計	667	684	17
自己資本 ※	756	743	△13
非支配株主持分	31	30	△0
純資産合計	787	773	△13
負債・純資産合計	1,454	1,458	3
期末レート (USD円)	113.00円	111.00円	

借入金合計

2016年12月末	163億円
2017年12月末	156億円
2018年12月末	177億円

自己資本比率

2016年12月末	51.7%
2017年12月末	52.0%
2018年12月末	50.9%

※ 自己資本 = 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

(単位：百万円)

科目	期別 2017年12月期 (2017.1.1~2017.12.31)	2018年12月期 (2018.1.1~2018.12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,201	5,239
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,737	△7,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,259	△122
現金及び現金同等物の期末残高	9,351	6,788

2. 2019年12月期 通期予想と今後の計画



(単位：百万円)



(単位：百万円、%)

	2018年12月期	2019年12月期 予想		
	金額	金額	増減額	前期比
売上高	162,056	173,600	11,543	7.1
営業利益	5,112	6,000	887	17.4
経常利益	6,910	7,500	589	8.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,692	5,000	307	6.5
期中レート (USドル)	110.43円	110.00円		

2019年12月期 通期業績予想 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2018年12月期 金額	2019年12月期 予 想		
			金額	増減額	為替換算影響額
売 上 高	印刷インキ・機材（日本）	54,950	54,626	△325	－
	印刷インキ（アジア）	32,156	38,430	6,273	△976
	印刷インキ（米州）	44,957	48,965	4,008	△186
	印刷インキ（欧州）	9,321	9,688	367	△298
	機能性材料	12,185	13,624	1,439	△78
	報告セグメント計	153,571	165,333	11,762	△1,540
	その他	16,335	16,317	△19	－
	調整額	△7,851	△8,051	△200	－
合 計	162,056	173,600	11,543	△1,540	
営 業 利 益	印刷インキ・機材（日本）	1,125	1,153	26	－
	印刷インキ（アジア）	1,529	2,227	698	△45
	印刷インキ（米州）	992	1,070	78	△7
	印刷インキ（欧州）	△791	△624	168	22
	機能性材料	1,222	1,098	△124	△3
	報告セグメント計	4,078	4,924	847	△33
	その他	390	383	△7	－
	調整額	643	693	50	－
合 計	5,112	6,000	887	△33	

※今期より関係会社であったタイとブラジルを連結子会社化しました。

重点施策

- 製商品を含めた
トータルソリューションの提案
- 革新的生産技術によるコスト削減
- インキの価格改定

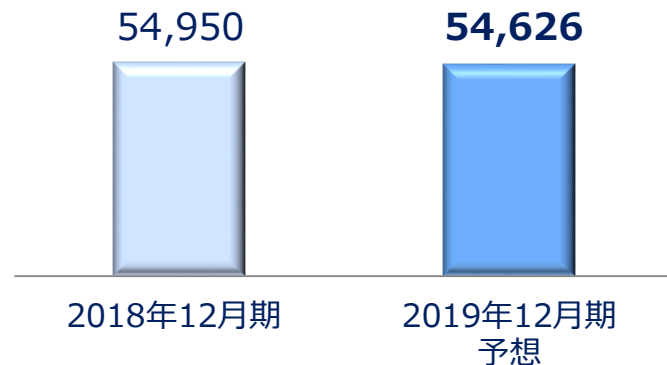
<新聞・オフセット分野>

- 高濃度・高演色性インキ等
品質差別化製品による拡販
- 高感度UVオフセットインキの拡販

<パッケージ分野>

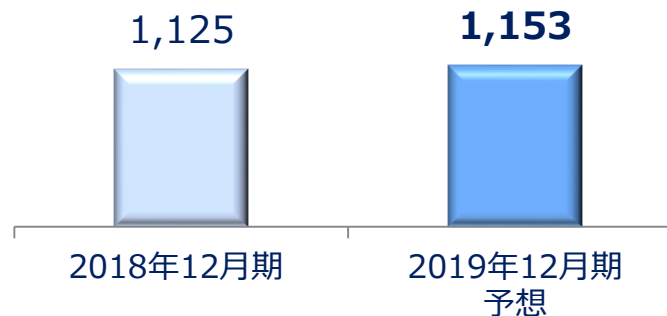
- ボタニカルインキシリーズ
(植物由来成分含有)
フィルムパッケージ用インキの拡販
新たな展開として紙器用インキの販売

売上高（百万円）



前	期	比	増減（百万円）	増減率（%）
			△325	△0.6

営業利益（百万円）



前	期	比	増減（百万円）	増減率（%）
			26	2.4

重点施策

- 高機能・高品質な
地域密着型製品の開発・投入
- 地産地消の推進
- ネットワークを活かした販売拡大
- グループシナジーによる
原材料コストの削減
- 未進出エリアへのビジネス拡大
- インキの価格改定

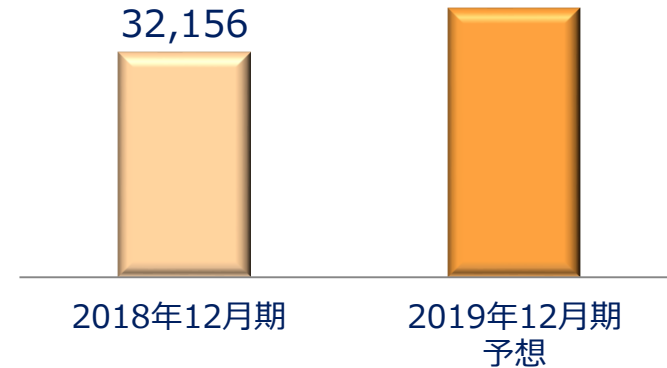
<パッケージ分野>

- グローバル顧客向け
高性能環境配慮型製品の拡充

<新聞・オフセット分野>

- TPM活動の推進・展開による
生産性向上とコスト削減

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	6,273	19.5
為替影響排除後	7,249	22.5

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	698	45.7
為替影響排除後	742	48.5

重点施策

- 南米市場への積極展開
- TPM活動の推進・展開による
生産性向上とコスト削減
- インキの価格改定

<パッケージ分野>

- 高性能ラミネート用フレキシ、
グラビアインキの新製品投入による拡販
- 生産能力増強による拡販

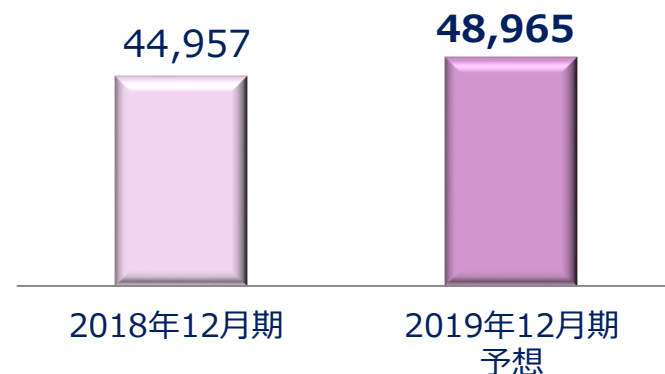
<UV・EBインキ分野>

- UV・EBインキの販売強化

<缶用インキ分野>

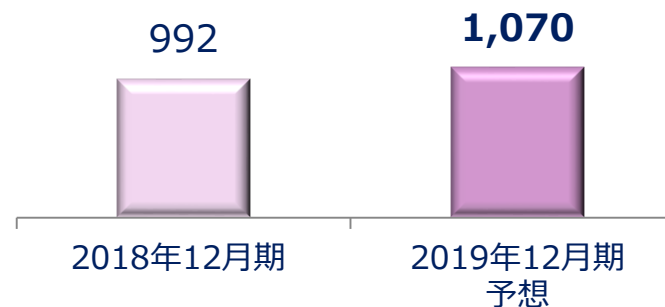
- 南米での販売強化
- 高品質なインキの開発とサービスの向上

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	4,008	8.9
為替影響排除後	4,195	9.3

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	78	7.9
為替影響排除後	85	8.6

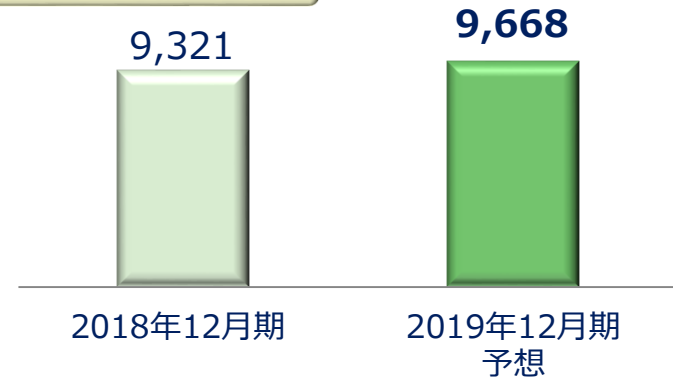
重点施策

- 販売体制の強化ならび
生産体制の再編による効率化推進
- 東欧・中東・アフリカ等、
未進出エリアへのビジネス拡大
- ブランド力の強化

<フランス・スペイン>

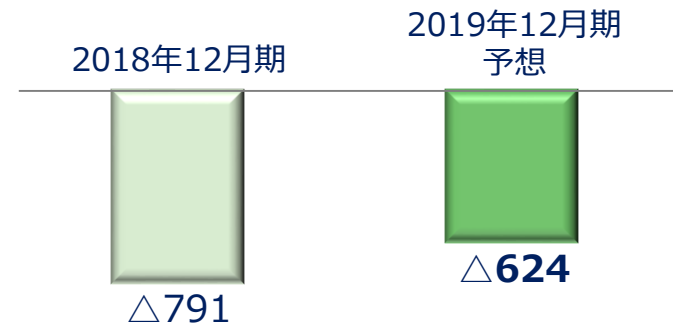
- UVフレキソ、UVオフセットインキの拡販
- グラビア・フレキソ
 - ・ コスト競争力のある製品の開発・投入
 - ・ グローバル顧客への販売推進
 - ・ 食品包装用水性インキの販売推進

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	367	3.9
為替影響排除後	666	7.1

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	168	—
為替影響排除後	145	—

重点施策

<インクジェットインキ>

- プリンターメーカーとの関係強化
- グローバルな生産・販売体制の強化
- 各種インクジェットインキの
産業用途への拡大

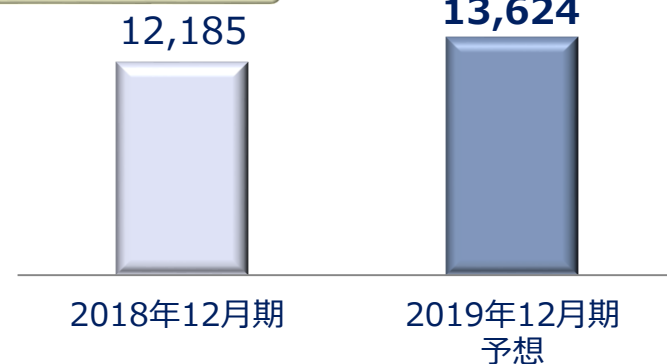
<CF用顔料分散液>

- 市場競争力のある高品質製品の投入
- レジストメーカーとの関係強化
- 新規ディスプレイ用発光材料の開発
- ディスプレイのフィルム化・IoT発展に
貢献する新規材料群の研究

<機能性コーティング剤>

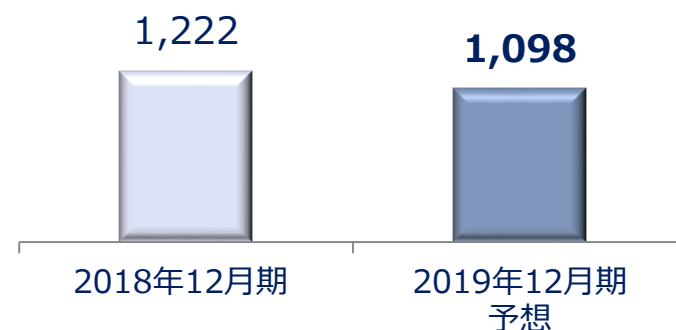
- エネルギー・光学・エレクトロニクス系
コーティング分野への参入

売上高 (百万円)



	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	1,439	11.8
為替影響排除後	1,517	12.4

営業利益 (百万円)

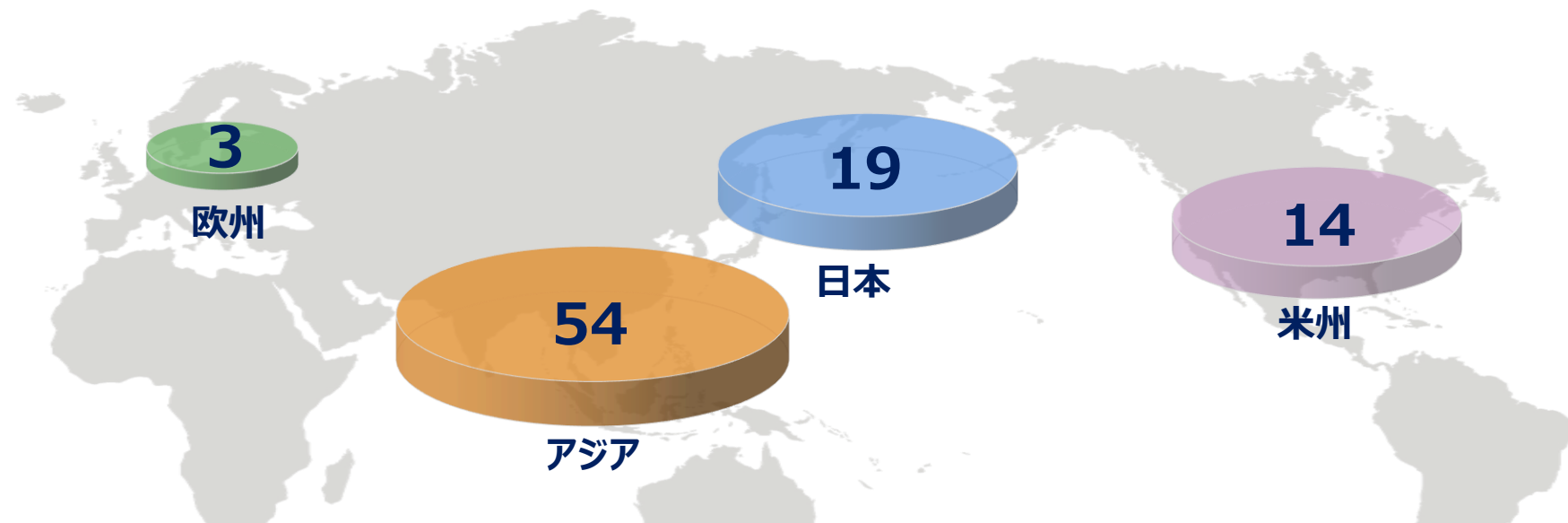


	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△124	△10.1
為替影響排除後	△121	△9.9

設備投資実績および予定（非連結含む）

2019年12月期 地域別投資計画

（単位：億円）



地域	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期予定
日本	26	38	19
アジア	9	12	54
米州	13	14	14
欧州	2	3	3
合計	50	66	89
減価償却費	38	42	45

中国（広東省茂名）

- ▶ オフセットインキ第2工場建設（'19年完工予定）

北米（ウィスコンシン）

- ▶ パッケージ用インキ設備増強（'20年完工予定）

フィリピン

- ▶ 新工場建設（工場移転）（'20年完工予定）

バングラデシュ

- ▶ パッケージ用インキ新工場建設（'20年完工予定）

北米（ウエストシカゴ）

- ▶ 研究所の拡張・充実（'19年3月完工予定）

インド（パルリ）

- ▶ パッケージ用インキ設備増強（'19年完工予定）

ベトナム（ホーチミン）

- ▶ パッケージ用インキ第2工場建設（'19年完工予定）



用地の概要

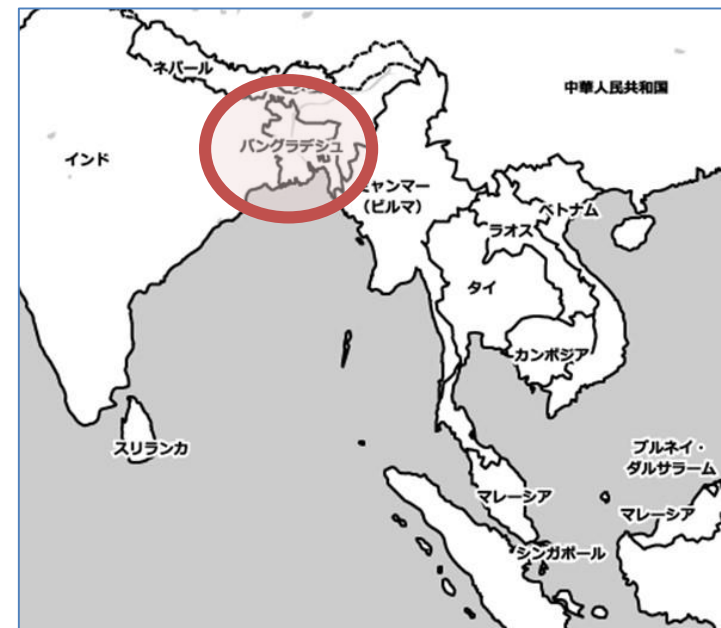
- 所在地 : Meghna Industrial Economic Zone (MIEZ)
メグナ産業経済特区 (ダッカ市郊外)
- 土地面積 : 20,241.71m²
- 用地取得者 : SAKATA INX (BANGLADESH) PRIVATE LIMITED
- 事業内容 : パッケージ用インキの製造・販売
- 新工場の完工予定 : 2020年



Bangladesh の基礎データ

(※データの出所 : 外務省)

- 面積 : 14万7千平方キロメートル (日本の約4割)
- 人口 : 1億6,175万人 (2017年1月時点)
- 首都 : ダッカ
- 言語 : ベンガル語



3. 今後の事業拡大と価値の創造



経済情勢

- 米中貿易摩擦
- 英国のEU離脱問題
- 新興国（アジア）を中心とした経済成長
- 日本経済の景気は横ばい

事業環境の変化

- 中国環境規制の強化
- 環境問題に対する意識の高まり
(海洋プラスチック問題など)
- ESG経営を意識した事業活動
- IoTの進展
- 働き方改革



価値の変化（多様化）

価値の変化
（多様化）

既存事業
強化

価値創造

高機能な製品

機能性材料製品

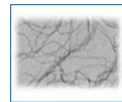
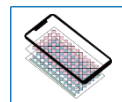
- 産業用インクジェットインキ・・・衣食住向け
- カラーフィルター用顔料分散液
・・・高精細、広色域再現

印刷インキ製品

- 生産性向上製品・・・UV・EBインキ
- 高機能な食品包装に対応した製品
・・・高信頼・高安全製品
- 異業種とのコラボレーション
・・・防虫塗工剤を共同開発

新・機能性材料製品

- 光学用透明絶縁材料
- 無機材料分散液
- 検査ガラス用コーティング剤
- 加飾成型用着色材料分散体



環境配慮型製品

活動

- クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス参画
- SDGs

機能性材料製品

- 産業用インクジェットインキ・・・環境配慮設計
- トナー・・・省エネ（低温定着）

印刷インキ製品

- 環境配慮型製品・・・植物由来成分含有製品（ボタニカル）、水性化



新・機能性材料製品

- ガスバリア性コーティング剤
・・・フードロス、モノマテリアル化



既存印刷市場の多様性

VOCの削減

クリーン・オーシャン・
マテリアル・アライアンス
への参画

植物由来成分を含む
材料への代替



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

デジタル印刷からの多角化

UV・EBなどの
エネルギー硬化型
インキなどの展開

ホーム&テキスタイルや
建材、アパレルなどへの展開

低溶剤・省エネ対応を
実現する
環境配慮型インキの展開



培ってきた技術からの新規提案

顔料分散技術

材料制御技術

高分子設計技術

- * 画像表示材料
- * 機能性コーティング剤
- * エネルギー、
新規色材への展開
- * ガスバリア
コーティング剤
- * モノマテリアル化

E 環境

- 環境基本理念・方針、環境マネジメント体制
- 二酸化炭素排出量、廃棄物および大気汚染物質排出量の削減、水質汚濁防止、生物多様性の保全
- 環境配慮型製品の展開
(環境マークの例) ※当社オリジナルマーク含む



ボタニカル
インキマーク



バイオマス
マーク



インキグリーン
マーク



ノンVOC
インキマーク



植物油
インキマーク

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
炭素効率性第1十分位
- 再生可能エネルギーの導入
(滋賀工場に太陽光発電所を設置)



指数のロゴ



太陽光第一発電所



太陽光第二発電所

➤ 内部統制システム

S 社会

- 労働環境
 - ・ 時間外労働削減に向けて、労働環境の改善
(労働時間管理の徹底、「ノー残業デー」の実施など)
 - ・ 年次有給休暇の取得促進
(全社平均年間取得率50%以上の維持、
年休取得の促進期間設定など)
 - ・ 次世代育成に関する支援
- 労働安全衛生
 - ・ 国内（4工場）
OSHMS認定取得、T P Mアドバンスト特別賞を受賞
 - ・ 海外
OHSAS18001認証取得（5ヶ国）
T P M優秀賞を受賞（米国のカンザス工場）

G ガバナンス

➤ コーポレート・ガバナンス体制 〈意思決定・業務執行体制〉

- ・ 取締役会（取締役11名（社外取締役2名含む））
- ・ 執行役員制度（2018年3月導入）
- ・ 指名・報酬委員会（2018年12月設置）
- ・ インターナショナル・アドバイザリー・ボード（2015年6月導入）
- ・ CSR委員会を最上位の委員会とし、その下に各種委員会を設置

〈監査体制〉

- ・ 監査役会設置会社
- ・ 監査役会（監査役4名（社外監査役2名含む））

➤ 健康管理

➤ 社会・地域への貢献

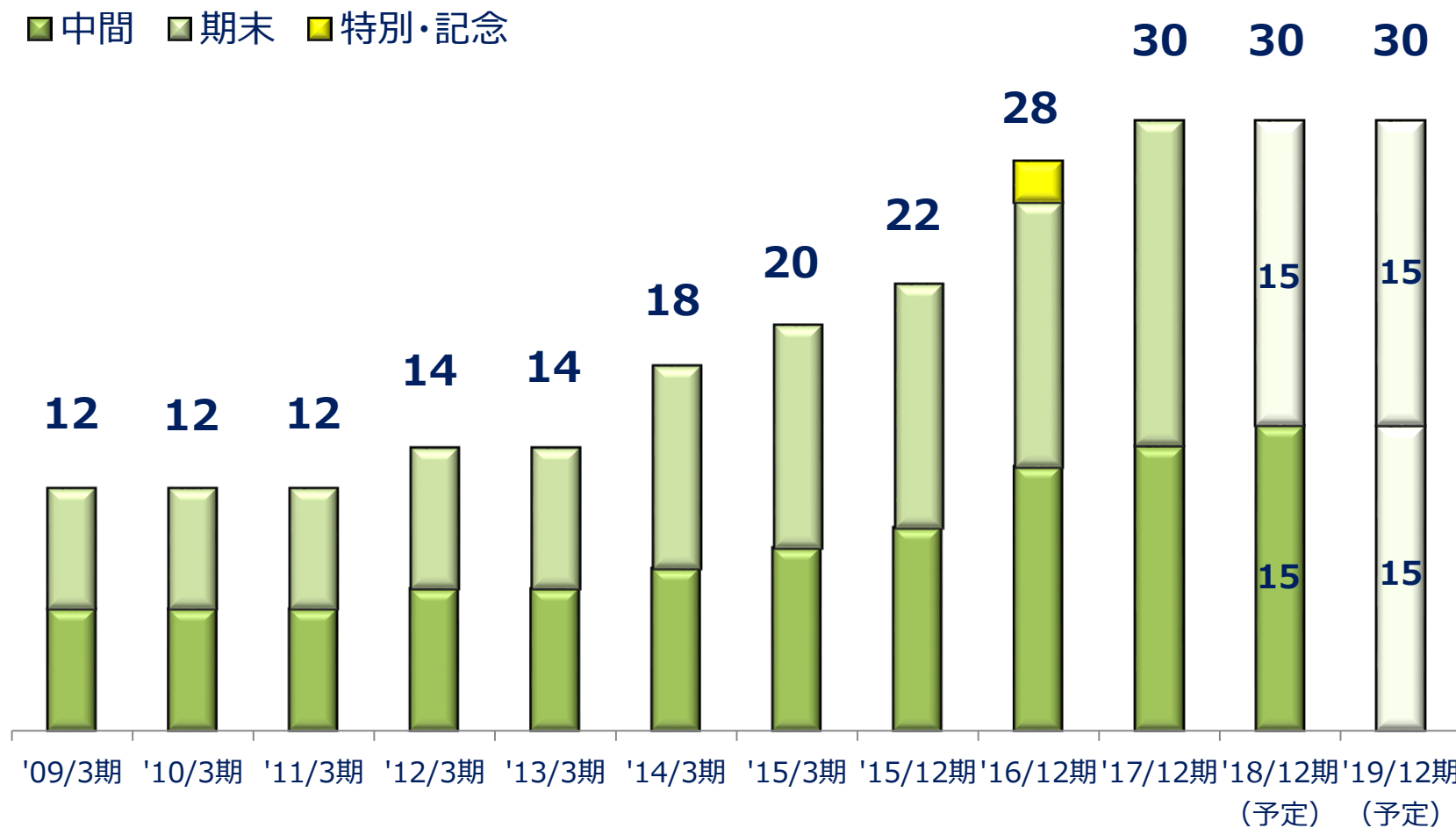
- 倫理行動基準、
内部通報制度、個人情報保護

1 株当たり配当金の推移

<配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

(単位：円)



SAKATA INX...

Visual Communication Technology



<お問い合わせ先>

サカタインクス株式会社 広報・I R室

TEL : 03-5689-6601 FAX : 03-5689-6622

E-MAIL : inx-pri@inx.co.jp